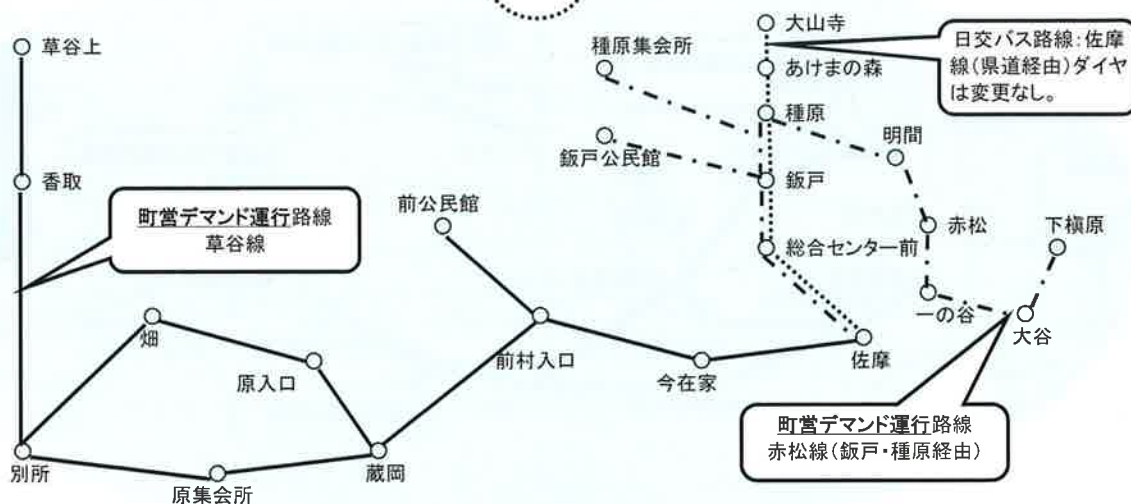


☆ 大山地区路線図案(見直し後)

大山地区



【注 意】

- (1)この路線図(案)は主な停留所のみ記載しています。
- (2)日交バス大山線(観光道路経由)は、変更がありませんので、割愛しています。

日交バス路線・便の見直し

① 路線の見直し

利用の少ない路線の運行を日交バスから大山町に移管します。

○草谷線 佐摩↔草谷上の区間

○佐摩線 佐摩↔大山寺(種原経由)の区間

*佐摩線 佐摩↔大山寺(県道経由)は従来どおり日交バスが運行します。

② 便数の見直し

佐摩↔大山口駅間の利用のない4便を見直します。

○佐摩 5時50分発大山口駅行

○佐摩 18時45分発大山口駅行

○佐摩 19時40分発大山口駅行

○大山口駅 20時10分発佐摩行

大山町のデマンド運行

大山町が日交バスから運行を継承する路線は、電気自動車(普通自動車)によるデマンド運行をします。

① 路線の新設

日交バスからの運行継承路線に加え、アンケート結果などから明間・赤松方面に路線を新設します。

○赤松線:佐摩から明間・赤松・一の

谷・大谷・下横原方面へ新設

② 路線の再編

これまで日交バスの種原経由大山寺行



▲米子への直行便、大山口駅～佐摩・大山寺間(県道経由)は従来どおり日交バスの運行

が蔵岡・原・別所方面に運行されていたが、明間・赤松方面に路線を新設するのに伴い2つに再編します。

○今在家・蔵岡・原・前・畑・別所・香取・草谷などを経由する草谷線と釜戸・種原など経由する赤松線に再編

③ 運賃

運賃は名和地区・中山地区の巡回バスの運賃と同じく大人・子どもにかかわらず、1人1回の乗車につき200円とすることで検討中です。また、町営バスから日交バスへの乗継引きや回数券などの各種割引は今後検討を行います。